

新庁舎の建設工事が はじまりました

☎ 財務課 ☎ 84-0322

※新庁舎完成イメージ

▼落札候補者決定までの経緯の詳細については、町ホームページ掲載の「開成町新庁舎建設工事 総合評価方式による入札結果報告書」をご覧ください。



開成町新庁舎建設工事 報告書 検索

◆入札結果の概要

落札者(施工者)	大成建設株式会社 横浜支店 (神奈川県横浜市中区長者町6-96-2)
選定手法	条件付き一般競争入札・総合評価落札方式
予定価格	2,534,780,000円(税込)
契約金額	2,282,040,000円(税込)

新庁舎建設工事開始!
2020年4月の供用開始を目指して、8月から新庁舎建設工事がはじまりました。
施工者は、7月25日に開催された町議会にて工事請負契約に関する議案が承認された「大成建設株式会社横浜支店」です。

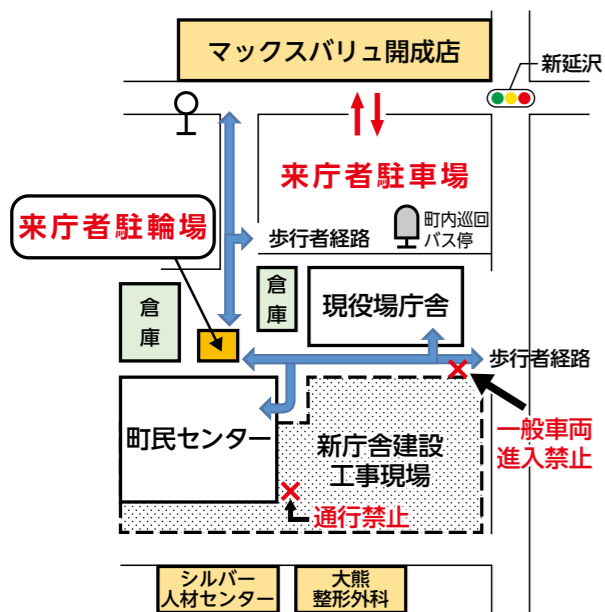
新庁舎建設工事開始!

工事期間中の利用

●**車をご利用の方**
北側臨時駐車場をご利用ください。
駐車場利用時間は8時から21時30分まで
※月曜日のみ8時から18時30分まで
右記時間外は施設します。

●**徒歩又は自転車をご利用の方**
役場東側(現役場庁舎正面玄関側)もしくは北側(バス停側)進入路からご利用ください。

また、自転車は町民センター北側の来庁者用駐輪場をご利用ください。
なお、南側入口(シルバー人材センター側)は工事エリアとなるため、ご利用できません。
ご不便をおかけしますが、安全を第一に考えて工事を進めますので、ご理解とご協力をお願いします。
今後、新庁舎建設工事の専用ホームページが開設されます。



ご協力
お願いします!

また、自転車は町民センター北側の来庁者用駐輪場をご利用ください。
なお、南側入口(シルバー人材センター側)は工事エリアとなるため、ご利用できません。
ご不便をおかけしますが、安全を第一に考えて工事を進めますので、ご理解とご協力をお願いします。
今後、新庁舎建設工事の専用ホームページが開設されます。

起工式が行われました!



▲左から、府川町長、(株)松田平田設計代表取締役社長 中国 正樹氏、大成建設(株)常務執行役員 横浜支店長 白川 浩氏

8月21日(火)、新庁舎建設用地内において、施工者主催の起工式が行われました。施工者を代表して、町長からは「東日本大震災を踏まえ、防災の拠点である庁舎の整備について検討を開始し、本日も着工を迎えました。町民の皆さんに喜んでいただける庁舎が、予定どおり完成できるよう、安全かつ着実に建設工事を進めてください。」とあいさつしました。



開運かざぐるま誕生物語

瀬戸屋敷ひなまつりを始め、町内のイベントに欠かせない存在の商工振興会の「開運かざぐるま」。今回は、その製作秘話や製作の裏側に迫ります。

開運かざぐるま誕生

8枚羽根のカラフルなかざぐるま。町のキャラクター「あじさいちゃん」と町商工振興会のキャラクター「せとわらしちゃん」が印刷されています。角は丸くカットされ、中央の留め具にはカラフルなビーズを使い、よく回るように工夫がされています。

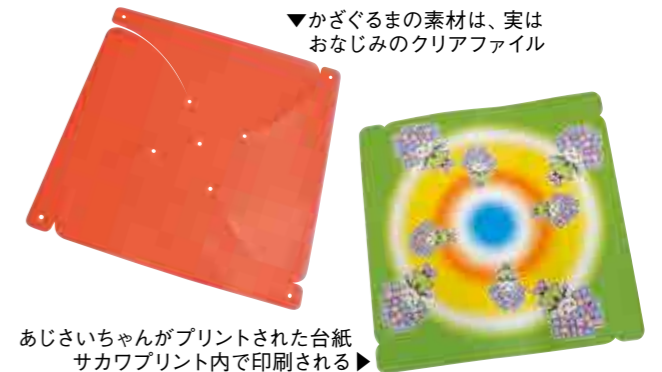
この「開運かざぐるま」が現在の形で登場したのは、2010年の秋。それまでも「子どもたちに喜ばれるものを」との思いでかざぐるまの工作教室などを行ってきました。2011年には、東日本大震災の復興支援チャリティー事業としても販売しました。

町のプロの技を結集

現在のかざぐるまは町の看板屋さんがデザインし、印刷屋さんが印刷、そして組み立ては、町内の福祉作業所が担います。

長年かざぐるま製作に携わり町内で印刷業「サカワプリント」を営む石内さんは「最初は、全てが商工振興会員による手作りでした。歯科技工士

▼かざぐるまの素材は、実はおなじみのクリアファイル



あじさいちゃんがプリントされた台紙、サカワプリント内で印刷される

の会員が、台紙に切り込みを入れる型を作り、私が、材料となるクリアファイルを用意し、持ち手の棒はみんなで切っていました。」

その道のプロが集う開成町商工振興会ならではのノウハウが生かされています。

その後、台紙に切れ込みと穴を開ける型を作る会社や型抜きをする会社を知ったこともあり、石内さんが中心となって、本格的に製作がスタート。「みんなで夜な夜な集まり、一つずつ作り上げていたのが懐かしいですね。」と、石内さん。

障がい者福祉、地域福祉へ

その後、会員のアイデアで町内の福祉作業所にかざぐるまの組立てを依頼することにしました。

個人経営の企業も多く、個々の会社で障がいがある方を雇用することの難しさもありますが、商工振興会として障がいがある方の雇用に貢献しています。

また、「開運かざぐるま」の一部収益は、自治会などに寄附されます。かざぐるまを通じて、地域が元気になり、町内の人と思いをつなぐ縁を回し、町を広くアピールする存在へと今なお進化を遂げています。

取材後記

9月8日(土)の、開成町阿波おどりの会場で販売があるそうです。ぜひ手にとって、その誕生や製作の背景に、様々な人の願いや思いが込められていることに、思いをはせてみてください。

まちづくり情報特派員 石崎 雅美